

安城市散策

2023:08:05

①安祥城	安城市安城町城堀(安祥城址公園)			
安祥城は松平氏の居城として知られています。徳川家康の祖父にあたる松平清康まではこの城を本拠としていました。森山崩れによって松平氏が弱体化した隙をつき、織田信秀が安祥城を攻め落とし、城代に織田信広を置いています。その後も今川氏との間で攻防がおこなわれ、太原雪斎により落城させられました。しかし今川義元が「桶狭間の戦い」で敗れ、独立した松平氏と織田氏の間で清洲同盟が締結されると、岡崎城の前線としての価値が薄れ、廃城となりました。現在、城址には安城市歴史博物館が、本丸跡に大乘寺が建てられています。				
②安城市歴史博物館	安城市安城町城堀30番地	0566-77-6655	9:00～17:00	休＝月曜日
人面文土器、三河真宗の美術品、安祥城と安城松平氏の関係資料、日本デンマーク時代の資料などが常設展示されています。また、年5回の特別・企画展を開催しています。				
③大乘寺	安城市安城町赤塚1	0566-76-4097		
安祥城主の松平親忠が城の鬼門除けに建てたのが起源です。その後安祥城が落城から廃城になると本丸曲輪跡に移築され今はなき安城松平家の居城の跡です。				
④安城古城	安城市安城町社口堂			
平安時代、この地には志貴荘（しきのしょう）という、荘園があったといわれ、鎌倉時代には地頭の館が置かれ、安藤氏が居館としました。ちなみに館時代の主として、多門氏、酒井氏の名前もあります。室町時代になると、和田氏・五代の本拠地となり、永享十年（1438）の永享の乱後に和田氏が安祥城を築城して移ったため、廃城になったといわれています。				
⑤丈山苑	安城市和泉町中本郷180-1	0566-92-7780	9:00～17:00	休＝月曜日
石川丈山の世界を感じられる庭園 江戸時代初期の武士・文人として名高い石川丈山（いしかわじょうざん）は、現在の安城市生まれとされています。丈山はその後半生は、京都一乗寺にて詩仙堂を建て、風雅を楽しみ、詩作に遊ぶという悠々自適の生活を送りました。丈山苑は、その詩仙堂のイメージを再現し「丈山の世界」を伝えるための空間として、1996年に開苑しました。苑内には、詩仙堂を彷彿とさせる書院である「詩仙閣」と、唐様庭園、回遊式池泉庭園、蓬莱庭園を組み合わせた本格的な庭園であり、ところどころに丈山の漢詩碑も置かれています。建物や庭園を巡りながら、四季折々の美しい景色をゆっくりと堪能することができます。				
⑥永安寺の雲竜の松	安城市浜屋町北屋敷17			
樹齢300年と言われるその木は、地上から1.5mのところで幹が三つに分かれ、その姿はまるで竜のようです。				

⑦本證寺	安城市野寺町野寺26	0566-99-0221	9:00～16:00		
三河一向一揆の拠点。鎌倉時代後期、慶円上人(きょうえんしょうにん)が創建した真宗大谷派の寺院。永禄6～7年(1563～1564年)の「三河一向一揆」では、一揆勢の拠点のひとつとなり、徳川家康と敵対した。家康に鎮圧された後は破却されるが、後に再興し、江戸時代には200余の末寺を持つ大寺となった。内堀と外堀の二重の堀と土塁を廻らせた構造は、城郭のごとく防備を強化した伽藍配置となっており、「城郭伽藍」、「城郭寺院」とも称される。多くの遺構が良好な状態で現存し、本堂は県の文化財に指定、鐘楼、鼓楼、経蔵、裏門は市の文化財に指定され、国指定重要文化財の聖徳太子絵伝などの寺宝も所蔵する。					
⑧安城産業文化公園デンパーク	安城市赤松町梶1	0566-92-7111	9:30～16:00	休=火曜日	700円
四季折々のガーデンを散策したり、自然のなかで遊ぶことができる花のテーマパーク。名前の由来は、かつて「日本デンマーク」と呼ばれた安城市の歴史から。高さ19mあるシンボルのデンマーク風車がある広場は、全長55mのローラー滑り台などお子さまに嬉しい遊びのエリアとなっています。花の大温室フローラルプレイスにはデンマークの街並みが再現され、季節ごとのフラワーショーや、デンマークの北欧テイスト溢れる雑貨を巡るショッピングも楽しみのひとつです。					
⑨東端城	安城市東端町中縄手				
東端城は永井伝八郎直勝の居城として知られています。もともとは兄である長田尚勝が城主でしたが、1584年（天正12年）の「小牧長久手の戦い」において直勝が池田恒興・元助親子を討ち取る大功を挙げたため、徳川家康の命により兄に代わって城主となりました。その後、1617年（元和3年）に起きた「大坂冬の陣」でも武功を挙げ、笠間城に移ると廃城となりました。現在城址は城山稻荷の境内になっており、南側にわずかに土塁を確認することができます。					

名古屋IC⇒豊田上郷IC⇒⑥⇒①⇒②⇒③⇒④⇒⑦⇒⑨⇒⑤⇒⑧